



たき火台はコンパクトに収納できる



池内さん

ギアに本格参入。“佇まい、重視

アンドワンダー

「アンドワンダー」(アングローバル)が、キャンプギアに本格参入する。デビューシーズンの22年春夏は、たき火台やタープなどを提案。全体にシャープだが、温かみも感じさせるコレクションに仕上げた。

注目アイテムの一つは、トライポッドと五徳を一体化したたき火台(2万6400円)だ。鉄製の4本の脚で四角錐を作り内側の空間に、鉄製の焼き台と薪を置けるステンレス製の網をセットできるようにした。デザインナーの池内啓太さんは、「佇まいの奇麗さ」にこだわり、たき火台を囲んでホットワインやコーヒーを飲みながら、ゆったりとした時間を過ごすことを前提にデザインした」と話す。

もう一つは4〜6人向けのスクエアタープ。ナイロン100%生地にはポリカーボネートをコーティングし、経年変化に強くした。難燃加工を施した別売りのインサイドタープ(2万9000円)と組み合わせれば、たき火も楽しめる。ロープと自在金具のセットで4万8400円。元々アンドワンダーのカジュアルウエアはキャンプとの親和性が高かったが、「キャンプの裾野の広がりを受けて、アンドワンダーを山に登る人だけでなく、もう一步広げたい」(池内さん)として、ギアの開発に踏み切った。23年春夏に向けて、テントやアウトドアテーブル、コット、シュラフなどの製作も進めており、キャンプアイテムのトータル提案を展望する。販売は、直営店やアウトドア専門店など。

アンドワンダーの製品紹介